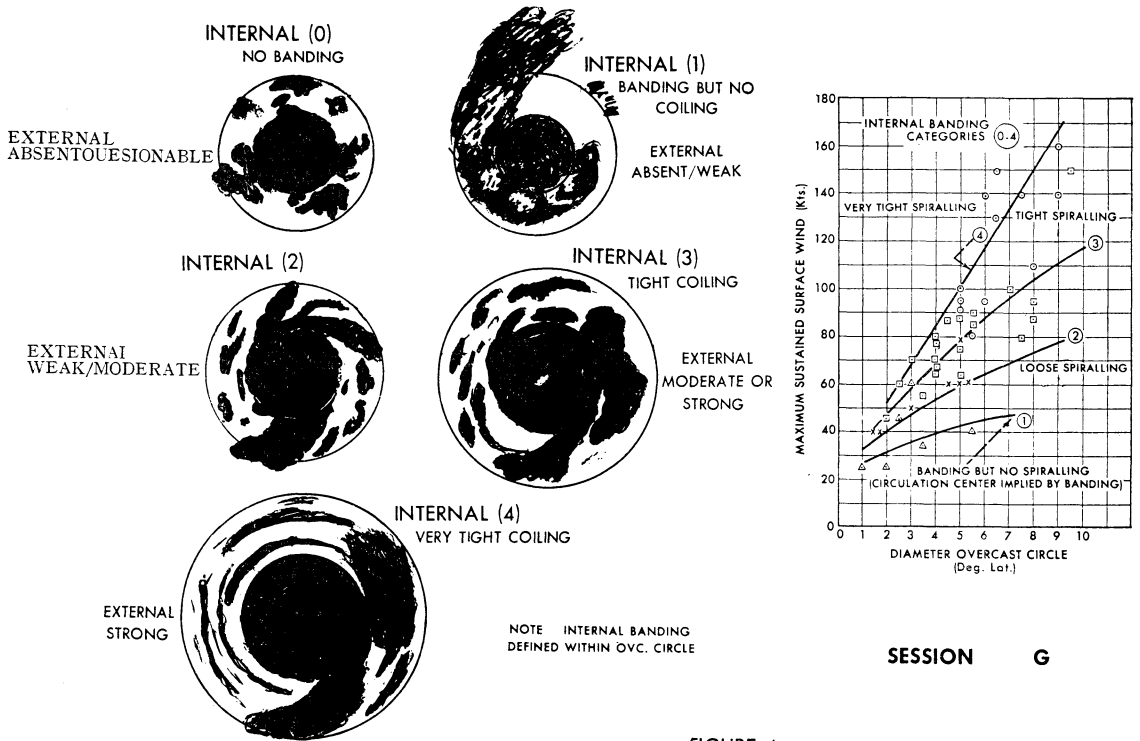


CATEGORIES OF INTERNAL BANDING



SESSION G

FIGURE 4

第9図 台風の最大風速を測定するための図

巻雲と絹雲

篠原 武次*

全国の管区気象台の観測課長が集った会議においても、また、決裁という名の官のルールにおいても、この雲形の改名については、意見らしい意見はなかったと聞いている。にもかかわらず、ジャーナリズムがとりあげたり、新聞の読者欄へ反対意見がよせられたりした。言葉はみんなのものであり、学術用語とはいえ、ファミリーなものを変えるにはそれにふさわしい手続が必要であ

る。今回の改名が官僚的だとの批判には反省したい。

これはまったく個人的な意見だが、雲形の分類に用いられている“巻・積・層”は、いずれも“巻いている”“積みかさなっている”“層をなしている”の意で、分詞形容詞とか完了体形動詞と呼ばれる役割をしている。だから、そのうちの一つだけを具象性のつよい形容詞的名詞“絹”に変えるのは分類名の統一性を乱すように思われる。

* Takeji Shinohara 気象庁観測部